

学校経営方針

— 知肢併置校としてこれまでの実績を踏まえた新たな歴史と未来の創造 —

1 教育目標

一人一人の伸びゆく力に応じたきめ細かな一貫した教育を行い、自立や社会参加を目指す「明るく・強く・たくましく」生きる児童生徒を育成する。

目指す児童生徒像【明るく・強く・たくましく】

礼儀正しさと何事にも積極的に取り組む**明るさ**を身に付け、自らの命と健康を大切に、**強く健やかに**成長する。さらに、自分の可能性を伸ばし、自立や社会参加に向けて**たくましく**学び続ける児童生徒。

目指す学校像【守り・育み・高める】

児童生徒の大切な命と人権を守り、一人一人の教育的ニーズに応えながら、よさや可能性、生きる力を育み、進路実現を図る。そのため、学校としての教育力や様々な機能を最大限に高め、発揮する学校。

目指す教職員像【寄り添い・正し・究め合う】

児童生徒の発達の様子や心情に寄り添い、良き範となりながら共に歩んでいく。そのため、自らを常に正し、律し、信頼されるよう努めながら、組織の中で人間性や専門性を究め合い、高め合える教職員。

2 経営方針

- 児童生徒にとって安全・安心な教育環境の確保に努め、健康の保持・増進のための取組を充実する。
- 教職員一人一人が目指す教職員像を意識し、連携・協働しながら教育活動を推進するための組織の見直し、体制づくりに取り組む。
- 児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援の充実を図り、様々な体験活動等を通して、児童生徒が生き生きと学ぶ学校づくりを目指す。
- 更なる業務改善を図り、教職員一人一人の教育実践の充実を図るとともに、服務規律の厳正確保に努め、信頼される学校づくりをより一層進める。
- 60年の歴史や伝統を継承し、肢体不自由特別支援学校としての専門性をより高めるとともに、知肢併置校としてのこれまでの実績を踏まえた学校づくりを推進する。

3 継続的に取り組む六つの目標

(1) 教育課程の組織的かつ計画的な実施と実施状況の評価を基にした改善・充実

- ・ カリキュラム・マネジメント
- ・ 自立と社会参加、進路実現
- ・ 連続性、一貫性
- ・ 学習指導要領
- ・ キャリア教育
- ・ 指導と評価の一体化
- ・ 鹿養 basic

(2) 児童生徒一人一人に応じた「生きる力」の育成や進路実現を目指す教育力の向上

- ・ 「個別の教育支援計画」、「個別の指導計画」
- ・ 自立活動の指導
- ・ 基礎、基本
- ・ 資質・能力（知識・技能 思考力・判断力・表現力、学びに向かう姿）
- ・ 授業力
- ・ 確かな学びの姿（テーマ研修の成果、授業公開の実施）
- ・ ICT 機器の活用
- ・ 食育、摂食指導
- ・ 訪問教育
- ・ 寄宿舎教育
- ・ 放課後活動
- ・ 進路指導
- ・ 保護者や学園との連携

(3) 児童生徒一人一人の理解を深め、人権を尊重した生徒指導の推進

- ・ 人権同和教育
- ・ 教育相談
- ・ 「生徒指導提要」

(4) 安全・安心な教育環境の維持

- ・ 感染症拡大予防
- ・ 医療的ケア（特別支援学校看護師や保護者との連携）
- ・ ヒヤリハット、安全点検
- ・ 危機管理（各種マニュアル、避難訓練、保護者引き渡し訓練、大規模災害時の想定）

(5) 地域に開かれた、信頼される学校づくり

- ・ 服務規律の厳正確保
- ・ 特別支援学校教員としての専門性
- ・ センターの機能、地域ネットワーク
- ・ ホームページ、情報発信

(6) 教育活動の充実につながる業務改善の推進（働き方改革）

- ・ 勤務時間の意識
- ・ 会議等の精選
- ・ スクラップ&ビルド
- ・ 校務分掌
- ・ 職員間コミュニケーション
- ・ 簡素化、合理化